

タグを使った “氷鬼”に挑戦!

準備物

- すずらんテープ
- 笛

3つのポイント『楽しさ』『コミュニケーション』『体力向上』

STEP 1 タグを使用する際のお約束&準備運動

10分

環境構成

- 活動前にタグを装着し準備をする
→ すずらんテープを30cm程度に切って作っておく
(人数分×2)
- 装着する際は屋内などで、落ち着いて行う

活動の進め方

- ① 実際のタグを使用する場合、柔らかい部分や硬い部分があることを確認する
→ 振り回して硬い部分が当たると怪我をしてしまう可能性があることを伝える
- ② 後ほどタグを取るあそびをするため、今はタグに触らないよう伝える
- ③ 準備運動は一般的な「膝の曲げ伸ばし」「アキレス腱伸ばし」など、慣れているものを実施する
→ 準備運動の際に「今日は楽しくたくさん動こうね!」などと、子ども達がワクワクするよう声かけを行う

STEP 2 導入(ストップ&ゴー)(氷鬼)

10分

ストップ&ゴー

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る
- 事前に危ない箇所などにマーカーやカラーコーンなどを置き、子ども達に近づかせないようにする

活動の進め方

- ① ゆっくり歩きながら(歩くコースは定めない)笛の合図に合わせて立ち止まる
→ ぶつかったりころんだりしないように注意を促す
→ 止まる際のポーズを変えるなどして変化をつけて楽しむ
→ 動きに慣れてきたら、スピードを上げてみる

氷鬼

環境構成

- 一人一人の間隔を大きく取る

活動の進め方

- ① 氷鬼のルールを説明する
→ 鬼役を先生が行い、子ども達は鬼にタッチされないように逃げる
→ タッチをされてしまったら、その場で動けなくなる
→ 動けなくなってしまったお友達は、逃げてお友達にタッチしてもらうことで、再び逃げるができる
- ② 実際に氷鬼に挑戦する
→ 慣れるまでは、歩くくらいのスピードでぶつからないように逃げ、慣れてきたら徐々にスピードを上げていく
→ 鬼はゆっくり立ち止まり、ゆっくり逆方向に動きだすなど子ども達が逃げるときに急な方向転換にならないように注意する
→ 1回1分程度で氷鬼を行い、休みをはさみながら、何度か氷鬼を楽しむ
→ 様子を見ながら(スピードコントロールや危機回避がある程度できているかを判断して)鬼役を子どもに挑戦させてもよい

タグを使った氷鬼

環境構成

- タグを引っ張り、タグが取れることを確認する

活動の進め方

- ①タグを使った氷鬼のルールを説明する
 - ➡鬼役を先生が行い、子ども達は鬼にタグを取られないように逃げる
 - ➡タグを取られてしまったら、その場で動けなくなる
 - ➡動けなくなってしまったお友達は、逃げているお友達にタッチしてもらうことで、再び逃げるができる
- ②実際にタグを使った氷鬼に挑戦する
 - ➡慣れるまでは、歩くくらいのスピードでぶつからないように逃げ、徐々にスピードを上げていく
 - ➡鬼はゆっくり立ち止まり、ゆっくり逆方向に動きだすなど子ども達が逃げるときに急な方向転換にならないように注意する
 - ➡1回1分程度で行い、休みをはさみながら、何度かタグを使った氷鬼を楽しむ
 - ➡様子を見ながら(スピードコントロールや危機回避がある程度できているかを判断して)鬼役を子ども達に挑戦させてもよい
- ③タグを取られ動けなくなってしまった子どもはお友達にタグを戻してもらうことで、再び逃げるができるなどルールを変えて楽しむ
 - ➡鬼はタグを取ったら、地面に置いておく